

令和元年（2019年）10月入学／令和2年（2020年）4月入学（第1期）

地域創生科学研究科修士課程入学試験問題

社会デザイン科学専攻

多文化共生学プログラム

- ・多文化共生学 I（小論文） 1 ページ
- ・多文化共生学 II（選択） 2 ページ

試験開始前に以下をよく読んでください。

【注意事項】

1. 多文化共生学プログラムでは、専門科目2科目を課します。
2. 「多文化共生学 I（小論文）」は必修科目です。全員が受験してください。
3. 「多文化共生学 II」は選択科目です。
4. 答えは試験問題ごとに別の解答用紙を用い、それぞれに受験番号を、「多文化共生学 II」については選択した問題番号を記入してください。
5. 試験終了後は、解答用紙及び下書き用紙を全て回収します。試験問題は持ち帰ってください。

令和元年（2019年）10月入学／令和2年（2020年）4月入学（第1期）

地域創生科学研究科修士課程入学試験問題

科目名 多文化共生学Ⅰ（小論文）	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 多文化共生学プログラム
---------------------	--

次の問いについて、日本語または英語で解答しなさい。

「多文化共生」を定義し、その実現のために何をどのように行うことが効果的
と考えるかについて論じなさい。

令和元年（2019年）10月入学／令和2年（2020年）4月入学（第1期）

地域創生科学研究科修士課程入学試験問題

科目名 多文化共生学 II（選択）	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 多文化共生学プログラム
----------------------	--

以下の4つの問いから1つを選び、日本語または英語で解答しなさい（選択した問題の番号を解答用紙の問題番号欄に記入すること）。

1. あなたの研究分野、または、研究課題を明記し、そこで用いられる「自由」という概念について論じなさい。
2. 時代の変化は文化や文学にどのような影響を与えるか。具体例をあげて論じなさい。
3. 「より良い社会とはどういう社会なのか」について論じなさい。
4. 言語、コミュニケーション、言語教育の領域において、あなたが関心を持っている課題を1つ選び、その課題について具体例をあげて論じなさい。

令和2年4月入学（第2期）

地域創生科学研究科修士課程入学試験問題

社会デザイン科学専攻

多文化共生学プログラム

- ・多文化共生学Ⅰ（小論文） 1ページ
- ・多文化共生学Ⅱ（選択） 2ページ

試験開始前に以下をよく読んでください。

【注意事項】

1. 多文化共生学プログラムでは、専門科目2科目を課します。
2. 「多文化共生学Ⅰ（小論文）」は必修科目です。全員が受験してください。
3. 「多文化共生学Ⅱ」は選択科目です。
4. 外国人留学生特別選抜の受験者は、日本語・母語辞書（電子辞書・翻訳機等は除く）を使用することができます。
5. 答案は試験問題ごとに別の解答用紙を用い、それぞれに受験番号を、「多文化共生学Ⅱ」については選択した問題番号を記入してください。
6. 試験終了後は、解答用紙及び下書き用紙を全て回収します。試験問題は持ち帰ってください。

令和2年4月入学（第2期）

地域創生科学研究科修士課程入学試験問題

科目名 多文化共生学Ⅰ（小論文）	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 多文化共生学プログラム
---------------------	--

次の問いについて、日本語または英語で解答しなさい。

「多文化共生社会」とはどのような社会か。具体的な例をあげて論述しなさい。

令和2年4月入学（第2期）

地域創生科学研究科修士課程入学試験問題

科目名 多文化共生学Ⅱ（選択）	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 多文化共生学プログラム
--------------------	--

以下の4つの問いから1つを選び、日本語または英語で解答しなさい（選択した問題の番号を解答用紙の問題番号欄に記入すること）。

1. あなたの研究課題を明記し、具体的な研究内容を、その研究でとりあげる資料、史料、作品等を示して説明しなさい。
2. 自国と他国との比較文学研究・比較文化研究をすることは、多文化共生にどのような意義を有するか。あなたの研究内容に関連づけて論じなさい。
3. あなたの研究分野、または、研究課題を明記し、社会や教育との関係について、例をあげながら論じなさい。
4. 言語・コミュニケーションに関する科学的研究が多文化共生社会にとってどのような意義を持つか、具体的に例をあげながら論じなさい。

令和2年4月入学（第2次）

地域創生科学研究科修士課程入学試験問題

社会デザイン科学専攻

多文化共生学プログラム

- ・多文化共生学Ⅰ（小論文） 1ページ
- ・多文化共生学Ⅱ（選択） 2ページ

試験開始前に以下をよく読んでください。

【注意事項】

1. 多文化共生学プログラムでは、専門科目2科目を課します。
2. 出願時に届け出た専門科目を受験してください。
3. 「多文化共生学Ⅰ（小論文）」は必修科目です。全員が受験してください。
4. 「多文化共生学Ⅱ」は選択科目です。
5. 外国人留学生特別選抜の受験者は、日本語・母語辞書（電子辞書・翻訳機等は除く）を使用することができます。
6. 答案は試験問題ごとに別の解答用紙を用い、それぞれに受験番号を、「多文化共生学Ⅱ」については選択した問題番号を記入してください。
7. 試験終了後は、解答用紙及び下書き用紙を全て回収します。試験問題は持ち帰ってください。

令和2年4月入学（第2次）

地域創生科学研究科修士課程入学試験問題

科目名 多文化共生学 I（小論文）	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 多文化共生学プログラム
----------------------	--

次の問いについて、日本語または英語で解答しなさい。

「多文化共生」の意義と課題について、具体的な例をあげて述べなさい。

令和2年4月入学（第2次）

地域創生科学研究科修士課程入学試験問題

科目名 多文化共生学Ⅱ（選択）	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 多文化共生学プログラム
--------------------	--

以下の4つの問いから1つを選び、日本語または英語で解答しなさい（選択した問題の番号を解答用紙の問題番号欄に記入すること）。

1. あなたの研究テーマを、思想・藝術・歴史のいずれかの側面から具体的に説明し、あなたがその研究を行うことの独自性または強みを論じなさい。
2. 日本文化または日本文学の特徴・特質を表す言葉（キーワード）を一つあげ、あなたの研究内容に関連づけて、その特徴・特質を論じなさい。
3. あなたの研究課題の概要を記し、独創性や社会・心理・教育の研究としての意義（意味）について論じなさい。
4. 言語・コミュニケーションの研究を科学としておこなうためには、どのような基本姿勢や考え方などが必要または重要か。具体的に論じなさい。